

(株)三越伊勢丹ホールディングス(国内百貨店事業)売上速報(2020年 11月)



三越伊勢丹ホールディングス

2020年12月1日

国内百貨店事業 売上

(株)三越伊勢丹 店舗	前年比	4月-11月 累計
伊勢丹新宿本店 店頭	87.4%	62.8%
三越日本橋本店 店頭	90.0%	67.0%
三越銀座店	68.3%	44.2%
伊勢丹立川店	86.5%	69.3%
伊勢丹浦和店	90.1%	70.7%

	前年比	4月-11月 累計
(株)三越伊勢丹 計 (①)	85.3%	58.2%
(株)三越伊勢丹 既存店計※ (②)	85.3%	61.6%

※2019年9月末日営業終了した伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績除く

グループ百貨店事業会社	前年比	4月-11月 累計
札幌丸井三越	70.9%	64.2%
函館丸井今井	79.5%	74.5%
仙台三越	91.8%	76.9%
新潟三越伊勢丹	91.1%	70.7%
静岡伊勢丹	87.7%	77.1%
名古屋三越	90.8%	75.5%
広島三越	100.0%	82.5%
高松三越	101.7%	75.4%
松山三越	56.1%	55.8%
岩田屋三越	94.0%	71.8%

	前年比	4月-11月 累計
国内グループ百貨店 計 (③)	88.0%	71.8%
国内グループ百貨店 既存店計※ (④)	90.8%	74.2%

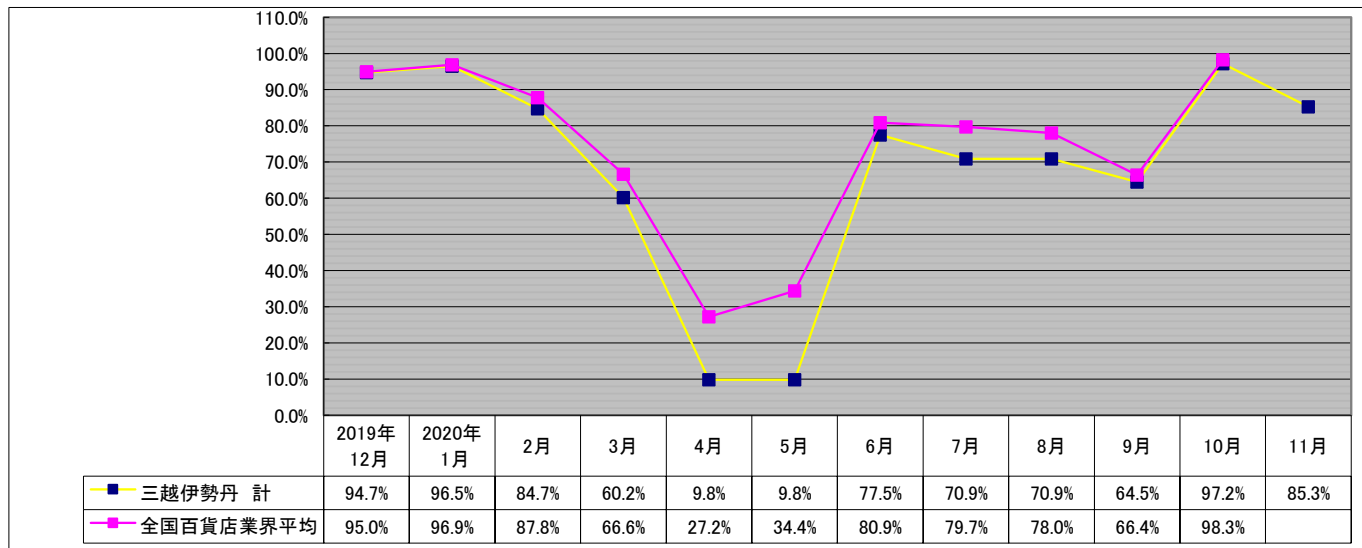
※2020年3月22日営業終了した新潟三越の実績除く

	前年比	4月-11月 累計
国内百貨店 計 (①+③)	86.4%	63.8%
国内百貨店 既存店計※ (②+④)	87.5%	66.9%

※2019年9月末日営業終了した伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店の実績と
2020年3月22日営業終了した新潟三越の実績除く

過去1年間の月別売上高(前年比)推移 [三越伊勢丹・全国百貨店業界平均]

数字は速報値です。三越伊勢丹計は既存店計の実績です。



概況

- 一部店舗では売上が前年を上回るも、首都圏と札幌など特に新型コロナウイルスの感染が再拡大した地域においては入店客数が減少した影響で、国内百貨店(既存店計)の売上は前年マイナスとなった。
- 伊勢丹新宿本店と三越日本橋本店では、ロイヤリティの高いお客さまを中心にラグジュアリーブランドのハンドバッグ・宝飾・時計等の高額品の売上が引き続き堅調。また、年末の家の中の時間を充実させたいニーズを受けて、クリスマスケーキやおせちの予約販売は好調に推移する。オンライン売上は特にお歳暮や冬物ファッションアイテムへの関心が高く、前年比約1.4倍と伸長した。
- 免税売上は、首都圏店舗の売上前年比が先月より下回った影響で、国内百貨店(既存店計)の売上も伸び悩んだ。